

第3回公開国際研究会のご案内

【シンポジウム】

成人移民と受け入れ社会のコミュニケーションと言語教育ーヨーロッパと東アジアの比較研究ー

日時：2011年3月12日（月）10:00-17:00

場所：京都大学 人間・環境研究科棟地下大会議室（ドイツ語日本語、フランス語日本語通訳あり）

参加申し込みは 松岡洋子まで

MATSUOKA Yoko <yokomat@iwate-u.ac.jp>

開会の趣旨説明 10:00-10:10 松岡洋子（岩手大学：研究代表者）

第1部 10:10-11:00 基調報告「ドイツにおける移民の言語教育の現場から」

講師：アンナ・C・ウェーバー（ヴィスバーデン市民大学）＊講演はドイツ語（独→日逐次通訳有）

11:20-12:30 模擬授業 「ドイツ統合コースの入門クラスの授業を体験する」

ドイツ語講師：アンナ・C・ウェーバー（ヴィスバーデン市民大学）

＊ドイツ語初習者向けのクラスです。ドイツ移民になったつもりでクラスにご参加ください。

第2部 パネルセッション「ヨーロッパ・東アジアの成人移民への言語教育とその課題」 14:00-16:30

「ヨーロッパの成人移民への言語統合政策：、支援か、規制か」ジャン＝クロード・ベアコ（パリ第三大学）

「韓国における移民の言語教育に関する課題」チャン・ハノプ（エイワ大学、韓国）

「統合のためのフランス語とは何か、議論のための情報提供」ピエール・マルチネス（ソウル国立大学）

「言語文化の多元的アプローチ、移民学習者の受け入れのための道具」ミシェル・カンドリエ（メーヌ大学、京都大学客員教授）

「日本の移住者に対する言語教育の現状」 松岡洋子（岩手大学）

「移住者の言語教育と教師の役割」 足立祐子（新潟大学）

休憩

討論 17:30-18:00

討論者：ジャン＝クロード・ベアコ（パリ第三大学）

アンナ・C・ウェーバー（ヴィスバーデン市民大学）

足立祐子（新潟大学）

ピエール・マルチネス（ソウル国立大学）

ミシェル・カンドリエ（メーヌ大学、京都大学客員教授）

チャン・ハノプ（エイワ大学）

進行：西山教行（京都大学）

＊印はフランス語（日本語同時通訳有）

【ワークショップ】

「ドイツ語教師のための成人移住者対象のドイツ語教育実践講座」

日時：2012年3月13日（火）10:00-12:30

場所：京都大学 人間・環境研究科棟

対象：ドイツ語教育関係者、移住者対象の言語教育に関心のある方 10名

内容：ドイツの移民に対する教師が持つべき知識、教育技能に関する実践的な教師研修です。

大学の授業や一般市民向けのドイツ語講座にも役立つ内容満載です。

＊研修はドイツ語で行います。一部、ウイスパーによる日本語簡約があります。

講 師：アンナ・C・ウェーバー（ヴィスバーデン市民大学・統合コースコーディネーター）

※本研究会は、日本学術振興会科学研究費補助金（課題番号：20401024）「アジア・ヨーロッパにおける移住者と受け入れ住民の共通言語教育研究の構築」（代表：松岡洋子）ならびに日本学術振興会科学研究費補助金（課題番号：23242039）「新しい言語教育観に基づいた複数の外国語教育で利用できる共通言語教育枠の総合研究」（代表：西山教行）の研究成果報告として実施します。